

絶滅危惧種の保全，動物園との繁殖研究

070

生産環境科学課程 助教 楠田 哲士

教授 土井 守

e-mail: kusuda@gifu-u.ac.jp



動物繁殖学研究室の目標は絶滅危惧種の保全！

①動物園と連携して研究します！

環境悪化により，地球上の野生生物の多くが絶滅の危機にさらされています。1年間に約1000種もの生物が絶滅に追いやられているといわれています。動物園・水族館は，今や野生動物の保全センターとして重要な存在です。私たちは，全国の動物園・水族館と連携して研究を行っています。

②私たちは「繁殖学」の研究室です！

絶滅の危機に瀕した多くの野生動物を保全するため，私たちは繁殖学的アプローチで貢献したいと思っています。希少種の繁殖生理を解明し繁殖計画に役立てています。

③私たちはウニコ研究室です！

糞や尿を使った方法でホルモンを分析し，繁殖生理の解明を進めています。特に「糞」は，動物にストレスや危険を与えることなく集めることができるため，野生動物研究では重要な手法です。この研究分野に本格的に挑戦したのは，日本では私たちが初めてです。

④淡水生物園を管理しています。

淡水生物園を管理し，主に岐阜のニホンイシガメとカスミサンショウウオの保護増殖を行っています（淡水生物園のポスター参照）。

1. 研究対象の動物 (写真は研究対象のごく一部です)

保全すべきあらゆる野生動物が対象です。動物園・水族館の陸上哺乳類が中心ですが，海生哺乳類（鯨類・鳍脚類），鳥類，爬虫類（主にカメ類）も研究対象にしています。性ホルモンの動きから排卵周期を調べたり，正確な妊娠診断法を確立したり，行動調査から発情兆候を明らかにしたりすることが，研究の主な目的です。



2. 連携する全国の動物飼育施設

- 日本各地の動物園・水族館，野生動物保護センター，希少鳥類の繁殖場，関連分野の大学などと共同研究を進めています。
- 例えば，近隣の**名古屋市東山動物園**とは，希少動物の繁殖生理に関する共同研究を，**名古屋港水族館**とは，**学術交流協定**を結んで鯨類やカメ類の繁殖研究を行っています。
- 全国の動物園水族館を統括する**日本動物園水族館協会**（繁殖検討委員会）と協力して，ソウ，シロサイ，キリン，チーター，ホッキョクグマ，ツシマヤマネコ，ライチョウ，ユーラシアカワウソなどの繁殖研究を進めています。

3. 求める学生 / 進路

- 動物が好き，動物園が好き，野生動物の保全・繁殖に強い関心と熱意のある人を求めています。学外から大学院生も多く受け入れています。
- 動物園・水族館の就職は極めて狭き門ですが，夢を叶えた先輩もいます。
 - ・多摩動物公園野生生物保全センター 研究担当
 - ・京急油壺マリンパーク 飼育部海獣担当
 - ・静岡市立日本平動物園 飼育担当（2名）
 - ・小諸市動物園 飼育担当



(過去に共同研究を行っていた施設も含まれます)

詳しくは，応用動物科学コースのHP，動物繁殖学研究室のHPをチェック！

応用動物科学コース

検索